

1. 件名：「日本原燃(株)の設工認申請に係るヒアリング(再処理施設(1-119)、MOX燃料加工施設(1-111))」

2. 日時：令和4年3月29日(火) 14時00分～16時05分

3. 場所：原子力規制庁 10階会議室(TV会議により実施)

4. 出席者

原子力規制庁

原子力規制部

核燃料施設審査部門

(原子力規制部新基準適合性審査チーム)

古作企画調査官、津金主任安全審査官、岸野主任安全審査官、羽場崎主任安全審査官、上出安全審査官、武田安全審査官、森野安全審査専門職

日本原燃株式会社 大柿 常務執行役員

再処理・MOX燃料加工安全設計総括 他17名

東京電力ホールディングス株式会社 原子燃料サイクル部

サイクル技術グループ チームリーダー

関西電力株式会社 原子力事業本部 原子燃料部門

原燃計画グループリーダー 他1名

中部電力株式会社 原子燃料サイクル部 サイクル戦略グループ 副長

九州電力株式会社 原子燃料技術グループ 副長

5. 自動文字起こし結果

別紙のとおり

※音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

6. その他

提出資料

なし

参考

- ・ 日本原燃株式会社 再処理事業所 規制法令及び通達に係る文書(令和2年12月24日)

「日本原燃(株)から再処理事業所再処理施設の設計及び工事の計画の変更の認可申請を受理」

https://www.nsr.go.jp/disclosure/law_new/REP/180000069.html

- ・ 日本原燃株式会社 MOX燃料工場 規制法令及び通達に係る文書(令和2

年 12 月 24 日)

「日本原燃（株）から再処理事業所 MOX 燃料加工施設の設計及び工事の計画の変更の認可申請を受理」

https://www.nsr.go.jp/disclosure/law_new/FAB/180000124.html

・ 令和 4 年 3 月 18 日

「日本原燃（株）再処理施設、MOX 施設の設工認申請に関する資料提出」

時間	自動文字起こし結果
0:00:02	規制庁のタケダです。
0:00:05	それではただいまから、日本原燃とのヒアリングを開始いたします。
0:00:10	本日のヒアリングは、令和2年12月に申請があった設工認申請について、
0:00:16	3月18日に提出があったヒアリング資料をもとに、事実確認を行うものになります。
0:00:23	規制庁場所については紹介いたします。
0:00:27	社長からは、ハバサキ、
0:00:29	タケダが参加しております。
0:00:33	ウェブからの参加が、
0:00:35	コサク、
0:00:36	ツガネ、
0:00:38	キシノ、
0:00:39	カミデ、
0:00:40	モリノ、
0:00:41	以上になります。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:00:44	それでは日本原燃の方から出席者の紹介と、議題の構成、説明範囲、達成目標について説明をお願いします。
0:00:54	はい。日本原燃中浜です。
0:00:56	皆さん両面の参加者をご紹介します。
0:01:01	オオガキ。
0:01:02	村野。
0:01:04	赤松。
0:01:05	佐川。
0:01:07	菊池。
0:01:08	フナバ。
0:01:10	ナカムラ。
0:01:11	イナガキ。
0:01:13	ウラバヤシ。
0:01:15	僕らって、
0:01:16	キョウダ。
0:01:18	ハラダ。
0:01:19	メトキ。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:01:21	イシバシ。
0:01:23	井口。
0:01:24	伊藤。
0:01:26	柏崎。
0:01:28	あと関西電力様より、宮地様。
0:01:31	以上となります。
0:01:34	本日ご確認いただきます資料でございますけれども、
0:01:39	現在表示させていただいてます新設計の基本方針に関する補足説明書で ございます。
0:01:46	石野建物 29、
0:01:49	最終期限 07。
0:01:52	新規レーン。
0:01:53	救急、
0:01:55	以上のご確認をいただきたいと考えてございます。
0:01:58	よろしければ、
0:02:00	新建物 29 からご説明差し上げたい。
0:02:03	と思いますけれどもよろしいでしょうか。

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:02:08	規制庁の武田です。ありがとうございます。それでは、最初の 29 の方からですね、
0:02:14	補足、補足で説明がありましたらお願いいたします。
0:02:21	はい。日本原燃佐川です。
0:02:23	耐震建物 29 ということで、計算機プログラムの概要についてという資料になってございます。補足としましては、本資料なんですけど、その下部のところに少し書かせていただいているんですけども、
0:02:35	2月7日のヒアリングっていうところで、これ耐震側の、以前も建物もそうなんですけど、幾つかの資料を出させてもらっていました。
0:02:43	このときの冒頭のところでカミデさんからの指摘として、中身のできっていうところの話がありまして、ちょっとうちのオオガキからところからも、社内レビュー受けやった上で技術的な観点っていうところ。
0:02:56	話はしてたんですけども、資料全体の構成とか概要からの書き下しっていうところが足りてないっていうところ。
0:03:04	がありましたので、2月7日時点で一度取り下げた資料になってございます。今回の修正としましては、2月7日以降概要から中身に繋がるどころっていうところを、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:03:16	充実化を図って修正してきておりますというのが本資料になってございます。一部ハバサキさんの方から、あのさ、その時は受けなかったんですけど建物側の計算機プログラムっていうところに少し、
0:03:29	指摘があるっていうところが大体わかってましたので、今回そこも拡充して修正してきましたっていうところになっております。
0:03:35	以上です。よろしくお願いします。
0:03:41	規制庁の竹田です。ありがとうございます。
0:03:44	それでは耐震建物 29 につきまして規制庁側から確認事項がありましたらお願いいたします。
0:04:04	規制庁の岸野です。
0:04:06	私の方からはですねちょっと、
0:04:10	記載の適正化に係る古藤で、まだ少々細かいものも含めて何点か確認したいと思います。
0:04:17	まず資料の 11 ページの方をお願いしたいんですけども、
0:04:29	6 番に振り、
0:04:30	が打って行って、の中ほどですから主要用途というところに地震応答解析っていうふうにあるんですけども、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:04:40	右側の主任席先行プラントのところには、
0:04:45	主要用途を見ますとですね、有効力に基づく二次元有限差分より事業を解析といった形で、
0:04:52	解析の種別ですとか断面ですとか、そういったことまで記載されたように比べると、非常に大きな、すいません。
0:05:04	すいません。規制庁カミデですちょっと今のキシノの11ページの中の、
0:05:12	話でマスキングに関わるようなところがあったと思うんですけど、事業者の方、確認できてますか。
0:05:32	日本原燃の岩瀬でございます申し訳ございませんおっしゃる通りでございます、ただいまおっしゃっていただいたご指摘のうち先行実績のところの内容につきまして、ちょっとマスキングに係る内容としてちょっと発言いただいていたところだと認識してございます。以上です。
0:05:49	はい。規制庁カミデです。衛藤タケダさんこれは、
0:05:52	あれですかね、後日文字起こしするときに、そういう対応をしてっていうことでいいんですか。
0:05:59	規制庁の竹田です。そうですね。ご認識の通りで後日、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:06:04	結果をちょっとご確認を元の方をお願いすることになると思いますので、その際に、発言箇所を取りついて、
0:06:11	ここが不開示情報であるということを、ちょっと下の2、確認いただこうと思います。すいませんが、対応よろしくをお願いします。
0:06:25	四、五年了解しました。
0:06:30	はい。
0:06:32	深井常務には気をつけつつ、
0:06:35	続けたいと思いますが、よろしいですか。
0:06:43	はい。規制庁岸野です。失礼いたしました。以後気をつけます。
0:06:48	では続けさせていただきますけども、使用用途の記載が随分あっさりしておりますけれども、今回申請での用途とか先行との差異がわかるような、
0:07:00	正確な説明をしていただきたいと思いますがいかがでしょうか。
0:07:19	日本原燃石橋です。今ご指摘いただきましたところ、
0:07:24	につきましてはですね、
0:07:26	先行、水の実績のところに記載されております使用用途、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:07:32	整合するような形で修正させていただきたいなと思っております。以上です。
0:07:38	はい、お願いします。
0:07:40	続きまして、16 ページなんですけれども、
0:07:46	B、C 業務については次回申請において提示というふうになっているんですが、
0:07:52	これも次回に整理する理由。
0:07:55	というのが、何か見込みの、次回申請において提示と書きちゃっているのかという確認なんですけれども。
0:08:02	と言いますと、これはバージョン違いのあるコードについての説明をしようとしているところだと思うんですが、10 ページを見ますと積配管系については特にバージョン違いのあるコードっていうの更改申請にはないと思うんですけれども、
0:08:17	これ次回申請において提示しますって宣言してるってことをいろいろ考えると、为什么呢か。
0:08:30	日本原燃菊地です。今の資料の中では物としてはお出ししてませんっていうところもありますので、ちょっとこちらの記載については、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:08:41	新見直しの方させていただければと思います。以上です。
0:08:46	規制庁の金です。すいませんちょっと趣旨がわからないんですけど、今回の申請したプログラムの中でバージョン値がいいのは、
0:08:57	全部、議会事項はあるのでっていう、
0:09:03	そういう意味です。
0:09:11	日本原燃菊池です。はい。今おっしゃっていただいた通りで次回以降は確かに存在。
0:09:17	するっていうところは把握しております。
0:09:21	ただこの資料として今の次回申請っていう部分、
0:09:26	その 1000 円を第 1 回の申請の範囲の中であるかどうかっていうところを、ちょっと少し検討させていただいて、
0:09:38	ちょっとそこの見直してっていうのをさせていただければと思います。
0:09:42	重吉です。わかりました。今回申請に限っては多分、次回に示すって宣言するようなものはおそらくないというふうに理解していますので適切な記載していただければと思います。
0:09:56	日本原燃菊池で承知いたしました。
0:10:00	続きまして、22 ページの方お願いします。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:10:09	表の右側に妥当性確認の概要。
0:10:13	猛烈なんですけども、
0:10:15	まず一つ目のポツの内容がちょっとよくわからないんですが、検証の内容の通り検証している。
0:10:22	という説明はこれ妥当性確認の説明になっているんですか。
0:10:28	検証した結果どのように妥当性が確認されたかということがわかる説明になってないと、ここでの説明になっていないように思うんですが、例えば説明の内容の趣旨を教えてくださいませんか。
0:10:39	日本原燃のオガセでございます。こちらの妥当性確認の概要というところで書かせていただいた趣旨につきましてご説明いたしますと、こちらのきちんと検証がなされたものを使ってるというのは今おっしゃっていただいたように右側左側の検証の概要のところで行った内容なんですけれども、
0:10:55	その検証とやったようなものだけ検証やったものが、その目的解析の目的様等、これときちんと同じようなやり方で検証したものをきちんと使っていますと。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:11:05	なので今回のこの設工認に使っている解析に使うことが妥当であるというようにところの意味で書かせていただいております。以上です。
0:11:14	規制庁の金です。おそらくそういうことだろうと思いますけれども、文章を読んだだけではその趣旨が伝わってきませんので、
0:11:22	きちんと趣旨が伝わるようにですね、あんまり端折った書き方をしないで丁寧に書いていただきたいと思うんですが、よろしいですか。
0:11:30	日本原燃の間瀬でございます。かしこまりましたただいま申し上げたような内容が趣旨ですのでそれがきちんと伝わるよう日本語の方修正させていただきます。以上です。
0:11:39	先生、木曾です。はい。それに続きまして下の二つポツ目なんですけど、
0:11:45	上述の妥当性確認の範囲外であるっていうんですけど、上述の妥当性確認の範囲ってのはどれを指しているのか、聞いていただけますか。
0:12:01	日本原燃の岩瀬でございます。まさにこの使用用途に関する目的を反映営業範囲というところでございますが、今回検証で実施いたしました、逐次典型解析ですとかそういったところの評価、検証をやっているところなんですけども、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:12:15	それと同じようなところをやっているという意味合いで、この範囲内という言葉を使わせていただいております。
0:12:21	規制庁の岸です。ちょっと突っ込んでばかりで申し訳ないですけど、同じようなところっていうのは、具体的にどういったところが同じであるとか、
0:12:33	はい。日本原燃の大橋でございます。同じようなところというのを申し上げましたのは、検証で実施しております。逐次非線形解析というやり方、これがちゃんと合っているというところ、またその逐次の自然系のモデル化のところですけども、ITモデルというものを使ってございますけれども、そういったところの条件も含めて、同じような条件でやっているというところ。
0:12:53	確認した上で、今回解析に用いているというそういった意味でございます。
0:12:59	設置の基準、すいません今のご説明、まだちょっと理解できないんですけども、ここは適用範囲が情実の範囲と同じっていうことを聞かされているのではリティモデルとか手法が同じってというのが適用範囲も同じだよってという説明に、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:13:13	その部分が今ちょっとご説明がわからなかったんですけども、先ほど一つ目のですね、1 ポツについても、
0:13:21	今申し上げましたように、そこ具体的に言ってるのかっていうのをちゃんとわかるような、丁寧に説明をしていただきたいと思いますんでこの2 ポツをですね、併せてもう少し、
0:13:32	説明ができないか考えていただけないでしょうか。
0:13:38	日本原燃のオガセでございますかしこまりましたちょっとこちらの方の文章の方へ修正の方させていただきます先ほどいただきましたご指摘の意図を踏まえて修正させていただきます。
0:13:47	規制庁の岸です。はい、お願いします。
0:13:50	収束のメディアっていうのは、例の、
0:13:55	燃料加工建屋の地盤のせん断ひずみが1%を超えていたものに対して検証で使ったソフトだったと理解しています。
0:14:05	せん断ひずみとしては7%とか8%とか、結構大きい値が出るものに対してここで、これを適用しているということについて適用範囲、
0:14:15	どうして問題ないんですかっていったものを、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:14:18	耐震建物 08 だったかその中でいろいろやりとりがあったように記憶しておりますけれども、そういった今回のような、少しレアなんです、レベルに対しても今回の適用性で問題ない。
0:14:33	いうことをここでは説明できないのでしょうか。
0:14:43	日本原燃のオガセでございます。こちらの前回前までに耐震建物 08 の方でも議論させていただいておりましたけれども、UD案とか逐次線形解析につきましてはこれまでの文献等の実績で、
0:14:57	1桁%台は3%とか4%とかそういった世界の話での適用実績というのは、確認しているところでございます。ですのでこちらについて今回の8%とかというところになりましたが段階オーダー感といたしましては、余りにかけ離れたようなひずみを使っているようなところまで、
0:15:13	上の適用範囲から外れ適用の実績から外れているところにはないという認識でいるところでございます。今回のこの検証につきましても後ろの方で詳細なところはつけているところでございますけれども、
0:15:25	少なくとも1%がひずみっていくように1桁%にはひずみっていくような形のところの、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:15:31	ねらってといたしますか、そういうような状況をねらった上での検証を行っているところでございますので、そういう先ほど申し上げております 1桁%台での検証という意味では、
0:15:41	使用した実績、もしくは今回の検証の内容というところでは、オーダーとして合っているというところという意味でございますと、共販という観点ではその1桁パーセントぐらいまでの適用性というものは今回確認できているというようなそういうような
0:15:56	位置付けにはなるのかなというふうなところは我々としては認識しているところでございます。以上です。
0:16:03	規制庁岸野です。はい。適用性に問題がないということを今、丁寧に、非常に丁寧にご説明いただいたんですけども、そういった辺りの説明っていうのはこの資料とかで、
0:16:13	どこで説明されているのかっていうのが質問の趣旨になるんですけども、
0:16:18	そこら辺はいかがでしょう。資料に盛り込んだりとかってのは検討されないのでしょうか。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:16:24	日本原燃のオガセでございます。今のご指摘の趣旨でいきますと今回資料にはそういったところをちょっと記載はされていないところございました。ですのでこちらの先ほど、
0:16:35	いただいたご指摘の適用範囲のところ、ところですか後の検証のところで検証の目的とかそういったところにですねその適用範囲的なところの考え方でのご指摘のことがいえるか先ほど私が口頭で申し上げたようなこと。
0:16:48	についてちょっと記載のほうを充実させていただくように修正の方させていただきますと思います。以上です。
0:16:54	清町の木嶋です。はい。ご検討はいただきたいなと思っております。一方で、今ちょっと私が問題提示させていただいた内容っていうのは、公開申請のP A建屋の地震応答解析の中の話で、
0:17:12	そこちょっと特化されたものについてこの解析コードの検証の中で、触れることによって次回以降の説明との整合とかもなるとどうかということもあろうかと思っておりますので、
0:17:25	場合によっては今回申請に特化した解析の詳細についての説明であれば、ここでは一般論に留めておいて、一方耐震地盤 08 の方でその辺りについてはしっかり述べるというような方法もあるかと思っておりますので、

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:17:39	その点どちらにどの程度まで記載するような適切かというのを、あわせて検討した上で、記載の適正化というのは考えていただければと思いますが、衛藤趣旨は理解いただけますでしょうか。
0:17:51	ありがとうございます日本原燃のオガセです。耐震建物 08 の方でいところでの話もありました。確かにこの 08 の方で逐次線形やったというのは P A 建屋の地盤の特徴というかコセイ。
0:18:04	を踏まえてそういうようなことをやったっていうようなところの話もありましたのでその辺整理の上どちらに書くか、例えばこのこちらの 29 の資料の方にどこまで細かく書くか、もしくは 08 の方に流すかというところをきちんと整理した上で、
0:18:17	反映の方させていただきたいと思います。ありがとうございます。
0:18:20	規制庁野木です。はい。お願いいたします。ここお伝えした、1 ポツとか 2 ポツについてももう少し丁寧になって申し上げたことは、
0:18:31	訓練する他のページで、40 ページと 49 ページもですね、出てくるかと思しますので、そちらの方もあわせて、適正化の検討の方をしていただければと思います。
0:18:44	日本原燃のオガセでございますかしこまりました。前の表のところをきちんと後の 40 ページ以降の表もしくは中身のところのところの反映と

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

	いうところにつきましても、整合とるように作成の方させていただきます。以上です。
0:18:56	規制庁の岸野です。はい。お願いいたします。続きまして 24 ページになります。
0:19:07	これは下の 6 番ですね。
0:19:10	についての一番右から二つ目妥当性確認、記載内容でまず 1 ポツ目なんですけども、
0:19:19	娘が妥当性を確認することができるで終わってるんです。
0:19:24	ここは確認した結果を述べるところじゃないんでしょうか。
0:19:30	それともその 1 の 2 ポツ目がその確認した結果になっているということ でよろしいんでしょうかちょっとこの趣旨を教えてくださいませんか。
0:19:40	少々お待ちください。
0:19:53	その辺日本原燃の箇所だけを申します。今ご指摘いただいてルー
0:20:01	内容について、すみませんけどもう一度お願いできますでしょうか。
0:20:06	別技術は、24 ページの表の右下になるかと思えますけれども、
0:20:13	6 番 2 妥当性確認の 1 ポツ目です。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:20:17	2行目から3行目にかけて妥当性を確認することができるって終わりますけれども、
0:20:24	確認してないんですかという質問です。
0:20:32	すいません。日本原燃伊藤です。
0:20:34	数ですねこちらの方の記載確認することができるとなっておりますけれども、確認しております。ちょっと、記載については修正させていただきます。
0:20:45	はい。すいません。米澤です。今の岸野さんのご指摘踏まえまして改めて見ますとその上のところの床応答のところもちょっと目線が逆に書かれているところが書いてしまっているところがあります。
0:20:57	確認されているというところで事業者の目線でいきますと、確認しているというのが正しいので、この辺りについても修正いたします。申し訳ございません。
0:21:06	清町の岸野です。はい。そうですね。そこでちょっと言及しなかったんですけどちょっと記載ぶりも不統一なところもあるかと思えますので、
0:21:15	そういった面でももう一度見ていただければと思います。
0:21:19	で、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:21:22	うん。
0:21:23	三つ目のポツにもですね、上述の妥当性確認の範囲内にあるって書いてあるんですが、具体的な中身がちょっとわからないんですけどこれは説明できますでしょうか。
0:21:40	はい。日本原燃の伊藤です。
0:21:43	こちらの方ですけれども、
0:21:47	そうですね。
0:21:49	工夫させた理論解と、本計算コード直す算出の比較ということですが、拡幅のやり方等につきましてはJ-Rで記載されてる遅刻の刻み幅ですか。
0:22:05	そちらの方に基づいて計算しておりますので、
0:22:10	問題ないという方とせっきく妥当性確認の範囲内であることを確認していると、そういった趣旨でちょっと書いております。ちょっとわかりにくいので、こちらの方の記載ももう少し見直したいと思います。
0:22:23	規制庁の岸野ですはい。情実の妥当性確認の範囲というのがおそらく左側の

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:22:30	るり側の検証を読み込んでいるのかなと思ったんですがちょっと違うんですかね。
0:22:36	はい。ちょっと私の推測、あまり自信がないので、あれここについても
0:22:42	内容がわかるようにですね丁寧な記載にさせていただくようにお願いします。
0:22:48	はい、了解しました。
0:22:51	うん。
0:22:51	続きまして、26 ページなんですけれども、
0:22:56	古井に別紙用のについては次回申請において提示とあります。この別所 ってというのは、補足説明で使用する解析コードのリストということで、
0:23:10	別紙の 2 を今回示さないってというのは、その理由を書かないんですけど、この機器配管系については、補足説明のみで使用するコードは今回ないと。
0:23:22	すべて、計算書に出てくる添付書類のみで、主に使われるもの。
0:23:28	添付書で使われるもののみですべてですよという、
0:23:32	理解でよろしいでしょうか。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:23:44	日本原燃メトキです。今回第1回申請におきまして補足で、新たに設けてることありませんので申請書の中で示してるものがすべてとなります。以上です。
0:23:57	わかりました。それが今回なくて次回で示しますよという、収縮と理解しました。
0:24:06	うん。
0:24:07	その次かいいも工事課において示すものがあるかっていうのはこれはもう確認しているという。
0:24:12	先ほどの質問と同じようなものなんですけど、そういう趣旨でよろしいんです。
0:24:18	はい。日本原燃佐川です。次回の部分につきましては、東郷と岸野さんからご指摘ありました通り、補足説明資料のみで使うものもあるというものを把握しております。次回、
0:24:31	お誓いで使用するもので、添付の中で示すものと、補足だけで示すものという識別があってまたここフライングして書いちゃいましたのでここにつきましては、ちょっと冒頭菊池のほうから申しました通り、
0:24:43	次回のは、次回で示すってことで、ここ、修正いたします。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:24:48	木内柚木です。はい、わかりました。そういう趣旨であれば理解できる。
0:24:52	と思い
0:24:54	あと 20、
0:24:56	10 ページなんですけれども、
0:25:00	この枠組み 1 発の説明の内容が少しわからなかった。
0:25:05	なんです、
0:25:07	この参考資料 1 というのが、
0:25:12	12 月に申請した添付書類の中に示されていないものの、
0:25:17	追加分を、今後添付資料として、
0:25:21	示すこととしてそれを今回補足説明資料参考資料 1 として示しているということで、12 月、一昨年 12 月の
0:25:31	申請書の中の解析コードの概要に、この参考資料の 1 の内容が今後追加されてきますよという趣旨と理解しましたその趣旨に合ってますでしょうか。
0:25:47	日本原燃のオガセでございますただいまおっしゃっていただいたご認識の通りでございます。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:25:54	内海キシノです。はい、わかりました。
0:25:57	ちょっとその等が読み取れないところもありますのでそこをあ、適正化をしておいていただければと思います。
0:26:09	最後になりますが、
0:26:11	34 ページの方をお願いします。
0:26:29	表の妥当性確認の
0:26:35	二つ目のポチなんですけれども、
0:26:40	これーですね、
0:26:44	ちょっと意味がよくわからないんですが、発電って使用実績があり、
0:26:50	すでに検証されているという。
0:26:55	意味は、
0:26:56	どういうことなのかちょっと教えていただけますでしょうか。
0:27:05	日本語のイシバシです。
0:27:08	今ご指摘いただきましたところですが、確かに何でしょう。日本語という意味合いでもちょっとなかなか、ちょっと文章になっていないかなと思いますのでまずはちょっとここ、言いたかったことにつきましては間瀬センコーさんでの実績、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:27:23	まずありますんで今回も使用することに対しては
0:27:28	適用性がありますよというところをここでお伝えさせて、させていただ きたかったところになっておりますのでその旨がちゃんとわかるような 文章形で、
0:27:36	次回お示しさせていただきたいなと思っております以上です。
0:27:40	清町の岸野です。はい。私がちょっと深掘りし過ぎたのかもしれないん ですけど、すでに検証されているってことさらに書かれているので、も う言わずもがなですよっていうことを、
0:27:52	強調されているのかなというふうに取りました。で、一方で、ここ はF L I Pについての説明なんですけど、
0:28:01	審査会合 12月1月IIに行った飛来物防護ネットについての議論の中 で、検証用モデルの妥当性についても議論があって、
0:28:14	その説明を一貫としてですね、振りが、発電炉と、ちょっと地理的な条 件が違う今回のサイトよりも、
0:28:24	適用して差し支えないことが適用範囲とかの制限が特になかったって いうようなことをですね、F L I P研究会のマニュアル等に基づいて、ヒ アリングだったかと思いますが説明をされた記憶がありますので、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:28:39	そういった確認をされているにもかかわらず、ここではそれに一切触れないで、発電で使われてるから、
0:28:46	もうすでに検証済みなんですよってという説明というのは少し、ちょっとこれ議論から、
0:28:52	ちょっと乖離してるのではないかなというふうに、
0:28:57	思うんですが、そのあたり、マニュアルに照らし合わせての一般的な経験を、
0:29:03	性に関する記述とかは、ここでは説明ができるのではないかと思うんですけど、この点はいかがでしょうか。
0:29:16	米沢です。
0:29:18	今のところ屋外の話になってるんですけど確かに岸野さんおっしゃる通りでして冒頭の一番最初の岸野さんのご指摘で、用途っていうところをしっかりと書いた上で、適用性をあたりなさいというところだったって理解してます。
0:29:31	そこについては用途のところも、その屋外のものについて書きますというのを我々宣言してますので、そこの用途を制限した上で、結果一緒だからいいよねっていう書き方は乱暴すぎるので、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:29:42	先ほどご指摘ありました審査会合で我々日本原燃として答えたことを踏まえて、ここ妥当だということで、記載を拡充するようにします。
0:29:51	私の方もそこを確認するようにします。
0:29:55	規制庁のキシノはい。確かに前段の方で指摘しました様とも関係してくる。
0:30:02	説明になるかもしれませんが、
0:30:05	今佐川さんご説明あったような、趣旨ですねちょっと記載の適正化の方検討いただければと思います。
0:30:12	続けてなんですけど、ここの3ポツ目です。
0:30:22	うん。す。バージョンは、8年度で使用されているものと同じって書かれてるんですけども、
0:30:30	これは11ページ2、バージョンの比較なんかができる表があるんですけど、それを直すとバージョンが違ってくるんですが、この説明ってのは適切なんでしょうか。
0:30:46	日本原燃の稲垣でございます。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:30:49	大変申し訳ない。確かにこの、今岸野さんをご指摘いただいた通りで、 ちょっと記載に不整合がございます。ここの点で書いてありますのは、 あと、柏崎刈羽の、
0:31:02	発電所では、バージョン 7.4. 1 を使っておりまして、そのバージョンに ついては、使用実績があるということをここでは記載させていただい て、
0:31:11	連絡ちょっと不整合がありますんでその辺を修正させていただければと 思う。
0:31:18	清千野委員です。はい、わかりました。おそらく発電炉によって同じも のがあるのかなというふうには想像はしてたんですけども。
0:31:25	そこら辺ちょっと資料の中で不整合というふうに誤解されないようにで すね、何らか、
0:31:32	説明の方を加えておいていただければと思います。
0:31:36	元の稲垣でございます。了解いたしました。
0:31:39	はい。で、その下、4 発目にある、上述の妥当性確認の範囲内である。 これもこれ、これまでお伝えしたようにですね、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:31:50	具体的に何を指すのかわからない記載になっておりますので、これについてもちょうと
0:31:54	説明ができるように、
0:31:57	再検討していただければ、
0:32:05	はい、原燃の稲垣でございますこれこちらの、先ほどのご指摘もありました通りヒアリングの中でですね、港湾構造物とかそういった、適用の限定がないということの趣旨を聞いたかったところでございますので、
0:32:17	適切に記載をさせていただくように、修正いたします。以上でございます。
0:32:23	規制庁の岸田です。はい。よろしく申し上げます。私から以上になります。
0:32:31	規制庁の。
0:32:35	何点か確認させていただきます。すいません。
0:32:38	規制庁カミデです。今のやりとりでちょっと私、ちゃんと終えてなかったんですけど、
0:32:46	解析コードのバージョンの話をご回答いただいたと思いますけど、それは、非開示情報にわからないのでしたっけ。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:33:20	はい。日本原燃原田でございます。
0:33:23	ちょっと先ほど稲垣が発言した内容ですね、先行炉の実績キー云々と申し上げましたけれども、ちょっとこちらの、
0:33:32	機械的情報に当たるかどうか再度確認の上ですね、適切に対応したいと思います。以上です。
0:33:42	はい。
0:33:43	規制庁カミデです。確認をお願いします。一方で、
0:33:51	ある程度先行実績の話をしていて、潜航は先行で審査資料をいろいろ出してるわけですから、
0:34:04	そこ
0:34:06	例えば公開されて実は誤解されてるんだけど、何となく広めにマスキングしてますっていう対応はよろしくないんで、改めてですね、
0:34:18	見直して、
0:34:20	確認した上で、今日のヒアリングの発言の内容についても、控え紙なのかそうそうではないのかっていうことを確認、回答いただければと思いますのでよろしくお願いします。
0:34:40	はい。日本原燃畑田で承知いたしました。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:34:49	規制庁の木戸です。
0:34:51	繰り返しになりますけれども
0:34:54	マスキング情報につきましては、自動文字起こし結果を、できましたら ちょうど確認いただきます。はい。いただきたいと思いますので、お願い いたします。
0:35:05	それでちょっと私の方から確認させていただきます。
0:35:09	46 ページをお願いします。
0:35:16	先ほどちょっと岸野からも、いろいろリリース確認あったかと思うんで すけど、そのミュージアムの検証のところでの確認になるんですけど も、
0:35:26	(2) の検証条件のところですね、最後のパラグラフのなお書き以降 のところでちょっと今、理解できなかったんですけど、
0:35:37	メディアの I T モデル
0:35:39	と、 F L I P のマルチスプリングモデルともに一番ひずみ依存特性は箏 曲モデルを用いているということなんですけれども、
0:35:49	これはメディアも F L I P もいずれも、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
 発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:35:53	双極性モデル、俗に言うHTモデルのことかと思うんですけど、それを用いて検証しているということによろしいでしょうか。
0:36:03	日本原燃のオガセでございます。ただいまおっしゃっていただいたご認識の通りだと思ってるんですけど47ページの図に双極性の小ひずみ依存特性第一層第2層のがありますけれども、これをこのミュージアムではY T D F L I Pではマルチスプリングを用いて、用いて逆書きゃしませんこれらの双極性モデルを用いて、
0:36:21	メディアに考慮する非線形モデルでございますI P、あとF L I Pで考慮する新規モデルのマルチスプリングこれらを設定したというところで、いずれもこの総曲線のものを47ページにあるものを設定したというところでございます。以上です。
0:36:44	えっと、
0:36:46	この第53.5. 1-2の、
0:36:50	示されているものっていうのは総局店モデルというよりは普通にG蒲生市が示しているだけかと思うんですけど、
0:36:58	これが双極性モデルなんですか。
0:37:18	日本原燃のオガセすいません少々お待ちください。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:37:35	日本原燃の長谷部、
0:37:39	文明のオガセでございます。今おっしゃっていただきました通り 47 ページにあるこのひずみ依存特性というのは、もちろんとりあえず $G\gamma H$ γ 曲線でございます。その次が一番の曲線のこの曲線の傾きとかそういったところを総曲線モデル総曲線の式で、
0:37:54	定義しているという意味でここで総曲線モデルというふうな言葉を出させていただいております。
0:38:03	関係が何かもうちょっとす。
0:38:05	詳細の説明は必要かもしれませんね。
0:38:14	芝田委員。
0:38:24	これ所長。
0:38:44	規制庁の竹田です。
0:38:47	はい。ちょっと私の理解も読めないところもあるんで、ちょっとですね別の角度からの確認になるんですけども、
0:38:57	逐次線形で用いている線形モデルにつきましては、ミュージアムを I T モデルというモデルを用いていると。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:39:07	<p>ということで、マルチスプリングモデルも、同じ $y-T$ モデルを用いて、線形特性というか、履歴特性とか含めて</p>
0:39:17	<p>作成されているということによろしいのでしょうか。</p>
0:39:22	<p>日本原燃のオガセでございます。それは違うところでして、ムーディ a n d の地区実践系では、マイキーモデルを F L I P での、この逐次線形解析やマルチスプリングモデルというそのモデル化の仕方ですね。</p>
0:39:35	<p>そういったところを使っているというところで、ちょっと元になってるのは同じ、この H がまじ γ 曲線ですよと、そういった意味でございます。ですのでこれでまず先ほどのお話で双極性モデルという言葉があったんですが、これちょっと余計なことを、</p>
0:39:48	<p>書いてしまっておりましたので、同じ一岡町が一番 G ガンマ曲線をいう点では行き F L I P でマルチスプリングで再現して設定していますというように言葉にまずはちょっと直すことではさせていただきたいと考えております。以上です。</p>
0:40:02	<p>曲線の話と、リレー曲線。</p>
0:40:09	<p>すごい。</p>
0:40:13	<p>規制庁ハバサキなんですけれども、</p>

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:40:15	今
0:40:17	戸松さんの説明をちょっと、
0:40:18	十分じゃないかなと思ってますで 44 ページに骨格曲線の話等履歴曲線の説明がありますんで、ちょっと先ほどの 46 ページの
0:40:31	ITモデル、それからMSの話、それと利益僥曲線の話、ここら辺にです ね、もうちょっと正確にというか、詳しくに説明を記載の方をしても らい、
0:40:47	たいというふうに考えるんですが、
0:40:49	可能でしょうか。
0:40:54	辨野オガセでございますかしこまりました。すいません間違っていない つもりではいたんですけれども少なくとも今おっしゃっていただきました 通り、44 ページにあります顧客曲線のところ、
0:41:06	どのように江島町ガンバからこういった曲線問題の方に展開するかとい う話を踏まえまして、それを踏まえて実際に 46 ページの方でそれぞれ の一番次、次がのところからどういうふうなITなりマルチスプリング やった上で展開しているかというところをちょっとわかりやすく丁寧に 記載の方をさせていただくように修正させていただきます。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:41:25	はい。お願いします。
0:41:34	試験結果に合わせるような、
0:41:40	形です。はい。すいません。どうぞありがとう。
0:41:42	すいませんが対応の方お願いいたします。
0:41:47	同じ条件で解析をされているということなんですけれども、48 ページの 表面による加速度スペクトル
0:41:56	について、若干 F L I P 度メディアでは差はあるんですけれども、この 3 っっていうのは、
0:42:03	そこまで小さくないと思うんですけれど、この差は、こういったところ によって生じているものかというのは、分析されてるでしょうか。
0:42:20	日本原燃のオガセでございます。こちらにつきましては差としては、 我々としては有意な差はないというふうに見ているところでございませ けれども、やはり先ほども 44 ページとかにもありますような骨格曲 線、
0:42:33	これを作るときのモデルが I T 買い戻しスプリングで若干当然同じ人が 1 釜に基づいてはいるものの離散点とかそういったところの差がどうし

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

	<p>でも出てきますので、ひずみ領域ではある程度少しはそういったところのループの差というところが出てくると思います。</p>
0:42:48	<p>こういったところがこういった誤差の原因にはなっているんですけども、地震動入力地震動の算定としてはこちらの周波数傾向ですか、シンク傾向そういったところは十分とらえられているというふうに考えてございますので、</p>
0:43:01	<p>メディアを使うことに対しては問題ないというふうに我々としては判断しているところでございます。</p>
0:43:07	<p>規制庁の竹田です。はい、わかりました。今おっしゃってる通りその過去骨格曲線の書き方で、やっぱりその差が出てくるもんかとは思っておりますので、今ちょっと、</p>
0:43:17	<p>比較の結果として記載されているのが</p>
0:43:21	<p>単純によく整合しているというだけしか書かれておりませんので、もうちょっとこの辺は、こういった差があるけれど、</p>
0:43:28	<p>その原因は何かというところ、そこまで整理した上で、整合はしていると、有意な差はないということまで含めて、結果としてまとめていただきたいと思いますが、よろしいでしょうか。</p>

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:43:44	日本原燃のオガセですかしこまりましたそのように記載のほうを充実させていただきます。
0:43:49	はい、規制庁タケダ
0:43:54	続きますして、
0:44:05	50、
0:44:07	7 ページでしょう。
0:44:13	どういう
0:44:14	の検証結果のところなんですけれども、
0:44:19	次の 59 ページ以降の応答スペクトルでの検証ともちょっと共通するところではあるんですけど、
0:44:29	でも 58 ページで言いますと、3.5. 2 の妥当性確認のところ、最初のポツのところ、
0:44:36	今回使用する機能は、応答スペクトルの作成の機能と、拡幅の機能崩落の機能ということではあるんですけど、
0:44:45	ここで検証されている結果、
0:44:50	示されているのは、
0:44:52	応答スペクトルの作成だけなのでしょうか。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:44:57	拡幅の機能崩落抜きのここまで検証はされてるんでしょうか。
0:45:03	日本原燃の岡村です。今回の検証にあたっての支援項目としては作成機能拡幅機能というところで、先ほどのグラフのところで示さ示してございます。
0:45:15	はい。規制庁は
0:45:18	はい。
0:45:19	どうぞ。
0:45:26	規制庁の竹田です。このシステム、このII解析コードでですね包絡機能まで用いているということなのであれば、包絡機能も
0:45:37	間違いなく、妥当であるということを示す必要があると思うんですけど。
0:45:42	それいかがでしょうか。
0:45:45	三原ナカムラです。おっしゃられる通り小浦機能として、今回のグラフの中では飯田武藤MSっていうのでここに示してございますけども、実際は水平方向の暴落というところもやってございますので、
0:45:57	ちょっと今、兄弟はございませんでしたので、そこも含めた記載の内容に見直させていただきます。はい。以上であります。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:46:05	はい。規制庁の竹田です。
0:46:08	わかりました。それでも、59 ページ以降の応答スペクトルについての検証については同じ感じかと思いますので、併せて記載の充実だとか、そういったものをお願いしたいと思います。
0:46:23	はい。日本原燃井藤です。オートスペクトルの方につきましても同様に確認して記載、見直したいと思います。
0:46:32	板野タケダ。
0:46:33	お願いします。
0:46:36	最後ちょっと細かいところで恐縮なんですけれど、戻ってしまいますが11 ページお願いします。
0:46:47	これは記載ぶりだけの話なんですけれども、
0:46:52	ナンバー7 っていう、3次元有限要素法による応力解析の例も、物によっては例えば4 か。
0:47:03	No. 4 であれば括弧させるモデルというふうな記載があるので、それと区別をするように、梁モデルを使ってるのであればそのことを明記していただきたいと思います。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:47:14	それに加えてNo.11 ですね、これも入力地震動の策定とあるんですけど、
0:47:20	逐次線形モデルを用いた入力地震動の策定と、
0:47:25	の違いですね、具体的に1次元で出してるのであれば、それがわかるように記載をもう少し詳しく書いていただきたいと思います。よろしいでしょうか。
0:47:44	日本原燃石松です。
0:47:46	今のご指摘の件、ご指摘の件ですね7番のところにつきましてはモデル名を使用料等のところに記載させていただくように修正させていただきたいと思っています。
0:48:00	規制庁の竹田です。お願いいたします。
0:48:02	竹田からは確認以上になります。
0:48:10	清さんはさっき、前回より内容的には拡充が働いてるかなというふうに思いました。ちょっとまだ幾つかですねちょっと確認といいますか、足りない部分があるかと思しますので確認します。
0:48:23	まず41ページ、
0:48:26	これ先ほどの話がありました身売り案の説明のところ、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:48:31	3.1 の一番上のパラグラフのところの最後の行燃料加工建屋の地盤の逐次非線形解析に使用しているとあります。で、防護ネットの全応力解析の話って、この資料上、
0:48:43	は読めないんですけども、
0:48:45	防護ネットの方の解析は、具体的には何でされてるんでしょうか。
0:49:04	少々お待ちください。
0:49:14	思うんですよね。
0:49:17	鳥栖、あと日本イシバシです。東京支社のハラダ荒田課長。はい、お願いします。
0:49:42	はい。江藤すいません渡しました日本原燃は、
0:49:45	えっとですね、11 ペイジー。
0:49:49	この表が一番わかりやすいかと思えますけれども、
0:49:54	地盤応答解析であれば F L I P ですし、あとワイヤーの輸入による応力解析であれば、
0:50:01	前伊井です。
0:50:02	ね。
0:50:03	を使って解決していると。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:50:06	ところでございます。以上です。
0:50:09	規制庁ハバサキです。質問は、地盤の逐次非線形解析全応力解析を、防護ネットは何で解析コードや、
0:50:20	使ってるんですかという質問なんです。
0:50:22	多分、この資料中には書いてなくて、おそらく想像するに F L I P を使ってるのかなと思ってます。
0:50:31	ですからその確認と、あと、F L I P の説明これ 33 ページからあるんですけども、
0:50:38	基本的にはこれ有効力解析行動。
0:50:41	要は有効力解析の話しか書いてなくて、
0:50:44	今回防護ネットで行っている全応力についての、
0:50:48	説明が見当たらないので、記載の方をしてもらいたいというのが趣旨です。
0:50:56	よろしいでしょうか。
0:51:28	首藤。
0:51:35	日本イシバシです。今ご指摘いただきました件確かにゆて応力解析について記載がありませんので、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:51:43	す、耐震建物 23 番でもですねお示ししておりますのでその内容にも、 も踏まえてですねここに記載を拡充させていただきたいと思います。以上です。
0:51:55	はい。規制庁浜崎です全応力解析についての説明それと、F L I P の記載が今有効力だけになってますので、そこを使い分けるといいですか。
0:52:06	きちんとそれぞれの説明をお願いしたいと思います。
0:52:10	あと、細かい話なんですけどちなみにそう、F L I P フリップってこう コード名書いてあるんですけど、今世の中の資料と見ると F L I P ロー ズって書いてあるんですけども、今回これ、
0:52:22	F L I P ってのはこれ、正式なコード名ということで、いろいろそれは よろしいですか。
0:52:37	少々お待ちください。日本原燃の稲垣でございます。
0:52:40	今、浜崎さんからご指摘のありました通り、不倫プローズという記載 が、本来プログラム名だというふうに認識しておりますので、ちょっと、
0:52:50	その辺も踏まえて適正化をさせていただければと思います。以上でございます。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:52:55	はい。規制庁浜崎ですこれ先行もですねF L I Pで、ちょっと悩ましいところですけども、ちょっと事業者としての判断ですね、適切な記載の方をお願いしたいと思います。
0:53:07	あともう一つだけ、これも非常に危機、細かい話で恐縮なんで、あと二つ。
0:53:13	まず、細かい話で恐縮ですが、41 ページの、
0:53:17	に戻っていただいて、
0:53:19	32 のパラグラフのところの 3 行目のところですねY Kモデルのところに、熱き納涼型 (1) っていうのがあるんですけどこれ、
0:53:29	片括弧 1 の説明がないんです。で、
0:53:33	I Tモデルの話って 44 ページにはあるんですけども、
0:53:38	何か抜け落ちなんでしょうか。この方 (1) について説明してください。
0:53:46	日本原燃のオガセでございますこちらの意味としては 49 ページの方にございます引用文献、吉田辻野石原ありますけれどもこちらを引用していたつもりでちょっとすいません片岡両括弧がちょっと、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:53:59	あまり整合してなかったのここはすみません適正化させていただきます。
0:54:02	規制庁浜崎です了解しました両括弧1ならわかります。はい。
0:54:07	ちょっと適正化お願いします。あと最後になります。
0:54:12	65 ページから、これも先ほど話があった応答スペクトル。
0:54:18	の、退職行動の件ですけど、
0:54:20	で、65 ページからバリエーション、Vやってて、
0:54:26	その位置付けがですね、
0:54:30	両一番上の P u b l にある別解析コードにて作成された、設計を落とす。
0:54:37	曲線。
0:54:38	ゆこうと曲線検証用データと、本解析コードを比較したってあるんですけども、この
0:54:44	検証用データの説明はないんですけども、
0:54:47	具体的にどういう解析コードだったかとかですねそこら辺の情報っていうのはこの中にないように思うんですけども。
0:54:55	その説明は必要だと思うんですがいかがでしょうか。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:55:01	はい。日本原燃の長です。
0:55:03	ちょっと今、手元に情報がないので
0:55:08	正しく書くようにいたします。ちょうど資料の中に抜けてたこと、申し訳ございませんでした。
0:55:13	はい。規制庁浜崎です。これベンチマークの説明ですので、よろしくお願ひします。私からは以上です。
0:55:26	規制庁の竹田です。
0:55:28	町側から耐震建物、
0:55:31	確認ございますでしょうか。
0:55:34	すいませんモリノです一つだけ恣意的にいたきたいことがあるので質問します。
0:55:40	37 ページの、
0:55:42	の検証及び妥当性確認のところの表の紙、妥当性確認の下から、真ん中のポツですね、ここなんですけど、現象の体系と今回の申請で使用する体系が同等であることから、
0:55:57	検証結果をもってってということなんですけど。
0:56:02	当庫の家検証結果をもって解析機能の妥当性も確認できるって

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:56:07	<p>どうということなのかっていうのを伺いたいんですけど、検証結果のところでこれアップ等そのベンチマーキングを行って麻生甲斐が一致してるってということ。</p>
0:56:19	<p>を書いている、それでここの妥当性確認ところでは体系が同等だっていることを書かれているんですけど、ここの関係性と、それと、</p>
0:56:31	<p>これに関連して、建物 06 ですか隣接建屋の影響に関する検討の資料とあっていうのを見たんですけど、体系が同じであるってこと、説明があまり読み取れなかったのでここの記載の趣旨を教えてくださいんですけど。</p>
0:56:57	<p>すみません少々お待ちください。</p>
0:57:33	<p>山野キョウダでございます。</p>
0:57:36	<p>こちら詳しくは確認させていただきますが言い方、言いたかったこととしましては現行でも同じように、地盤 3 次元モデル、立野支店計を 2 モデルして、</p>
0:57:48	<p>モデル化して隣接の検証を行っております。</p>

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:57:52	今回も、隣接の検討としましては次の3次元モデルに、建屋をシステムグループとしてモデル化しております、同様の解析方法で実施しておりますので、
0:58:04	現行の発電炉でも使用実績があるというものですので、今回もそこで
0:58:11	今回のこのモデルを、この解析コードを使うことが妥当であるというふうに、
0:58:16	そういう趣旨で記載しております。以上になります。
0:58:20	規制庁の飯野ですありがとうございます。ここで言いたかったことはそのモデル化がおなじで、それでベンチマーク解析つかをして検証したコードを使う。
0:58:31	ということとそれとその方法が先行と同じなので、妥当性っていう確認も、
0:58:39	他、そのコードを使用することの妥当性までは言えていて、それで結果も同様に妥当な結果が出てくるっていうことが言いたいっていうこと。
0:58:50	です。
0:58:57	表面のキョウダでございますがご認識の通りでございます。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:59:02	規制庁森野です。わかりました。
0:59:06	はい。ありがとうございます建物 06 の方をちょっと読み返して、確認したいと思います。海野会場です。
0:59:17	規制庁竹田です。その他規制庁側から確認ございますでしょうか。
0:59:23	よろしいでしょうか。
0:59:27	それでは、日本原燃の方から、ただいまの
0:59:32	規制庁側から行いました指摘事項につきましての振り返りと不開示情報の発言についての確認をお願いいたします。
0:59:46	はい、日本原燃沢です。草間コメントいただいてまして、細かい話に入る前に、まず全体的にもらったコメントの理解としましては、ちょっと、
0:59:56	健康電力と一緒に結果が一緒っていうような書き方しちゃってるところがあるので、そこについては、用途っていうところでその解析の機能とかですね、そういうところと、今回やるのが妥当だということを、
1:00:08	まず修正する必要があると。その上で、
1:00:13	審査会后、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:00:16	<p>案件になったところですね、F L I Pとか点応力っていうところで会合の中では、コードの妥当性はこうだということを述べていたものを、今回、この資料の中ではそこを述べずに、先行電力実績って言うところについては、審査会合で述べた妥当性っていうところをしっかりと拡充する必要があるかなっていうところで理解しております。</p>
1:00:36	<p>その上で、細かいところに入っていきますと、P11 ページという使用用途というところがまさに自分が言った通り、先行電力と今回の仕様というのが合ってるというところを変えていくと、その中で細かいコメントをいただいています7のところのモデルの話であったり、</p>
1:00:51	<p>11の逐次非線形というところ、そこについても拡充一緒にさせていく必要があるなということで考えているというところになってございます。</p>
1:00:59	<p>続きまして、16 ページ以降とかんところに出て、出てくる機器配管系の工事会っていうところについては、工事課で示すっていうのは、ちょっと我々の考えであって、今回そこが出てないのであればその扱いについては、</p>
1:01:14	<p>ちょっと気持ちが先走っちゃったのでそこは、</p>
1:01:17	<p>修正する必要があるというところになってくるというところで考えております。</p>

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:01:21	で、最終的に逐次線形ってところとかの書き足りていないというところを大きなところですね、新居ゆりあっていう土建さんのところはちょっと自分、勉強不足ですけどもそこについては、なお書き以降のところとかわかりづらいところがあるので、中身を修正する必要があるというところになってくると。
1:01:39	掛川のF R Sってところにつきましても、網羅、網羅、同じ拡幅じゃなくても、包絡崩落を確認してるにもかかわらずつけてなかったのでもそこは崩落を確認したという結果をつける必要があると。
1:01:53	あとは、もう楠田で使ってるF R Sにつきましても検証用データっていうところの比較ってところで、言葉だけ書きちゃってますので具体的に何をやったんだというところを書く必要があるってことで、資料の方修正します。
1:02:05	妥当性を拡充させるってことで理解してございます。
1:02:08	資料以外のところで、非開示情報の扱いというところで、先行炉と同様ですよということを書いていって、先行炉がそこまで非開示情報にしてるのかっていうところを圧壊確認した上で、
1:02:21	やる必要があるってことで理解してございます。最後に、今回の非開示情報というところを、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:02:28	ここはちょっと、
1:02:29	お願いします。
1:02:32	日本原燃原田です。光情報の発話、具体的にちょっと録音を確認した上でですね、適切に削除するなり対応を図りたいと思います。以上です。
1:02:46	規制庁の竹田です。ありがとうございました。
1:02:49	今の振り返りにつきまして規制庁側から追加でコメントや確認がありましたらお願いします。
1:02:57	よろしいでしょうか。
1:02:58	それでは次の資料の確認に進みたいと思います。
1:03:03	次の資料は耐震記念 07 ですね。
1:03:06	こちらの資料につきまして原燃の方から追加で説明がありましたらお願いいたします。
1:03:14	はい、井上サガワです。結果の資料というところで冒頭、これも 2 月 7 日に取り下げた資料の一部になってまして、概要の部分からなか—三野大江の書き下しというところを充実させるにあたって、今回の資料河川とか、23 年度がかなり入っております。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:03:32	ですけれども中身につきましては、もともと1年前からやっていた類型化 ってということで、形状に応じた類型化で説明をする上で、先に類似した ものに対する類型化というところの類型化のやり方を変えた上で、
1:03:46	特にその累計カウントを活用して、
1:03:50	今後説明していくんだってところでどこでそれを示すんだというところを、 これまでご議論させていただいてまして、本資料でいきますと 三瓶。
1:03:59	参考のところになるんですけども、ここ、補足説明資料での活用の仕方 ってことを中心に書いていたんですけども、いや、そうではないでしょ うというところで、添付の中でどう活用して、そこに、
1:04:10	後続がどうくっついてくるのというところで、ここの3項については、 中身を、添付、補足という流れで書き下したということで、修正してご ざいます。
1:04:20	なので言いたかったこととしましては、ここ1年間取り組んできた方向 性は変わってなくて、すいません何度もこれ出してるんですけども、そ うのような修正を加えたというところが補足になります。以上です。
1:04:36	規制庁の竹田です。ありがとうございます。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:04:39	それではこの種類につきまして、規制庁側から確認があればお願いいたします。
1:04:48	規制庁のカミデです。まず、
1:04:52	4 ページ目の、
1:04:55	2.1 のところで、
1:04:59	重大事故等対処設備っていうのは、
1:05:03	一応、下線が引いてあるんで追加だと思うんですけど。
1:05:08	今やっているこの後に説明されている類型化の分。
1:05:13	結果っていうのは、
1:05:15	これ S A 設備も含めて、もう類型化が終わってるっていうそういう認識なんです。
1:05:27	米沢です。
1:05:28	あとですね、ここに少し補足しますと、前の類型化っていうところでここを書かせていただいたのが、間形設備というところを中心に重大事故という使い方をして、加振試験の結果を示しますっていうことだけ書いてました。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:05:42	それに対しまして重大事故の対象設備っていうので強度評価があるものもあれば、ありますので、緩和型設備を含むということで、類型化しっ かりやります。しっかりじゃないや。
1:05:53	うんと可搬型、写真試験だけじゃないですよってことを書きたくて書きました。結論として、江藤沙美さんのご指摘っていうところで、例えば 1.2 S s 評価っていうところとかも、この類型化の
1:06:06	分類に含めて設計基準が先に出てきますので、類型化を行っているとい うことになります。
1:06:12	そこの示し方は次回で示していくっていうことをここに書かせていただ いたということになります。以上です。
1:06:21	規制庁、川満です。そうすると、
1:06:26	この市場で、
1:06:28	以降説明されてる類型化っていうのは、
1:06:32	D B
1:06:34	に対してのものだけ
1:06:37	後になると。
1:06:38	また、S Aの類型化っていうのがまた出てくるっていう感じですか。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:06:49	日本原燃フナバでフナバです。衛藤。
1:06:53	重大事故につきましては先ほど佐賀萌友言った通り、設計基準の延長線 に、
1:07:00	位置するものでありますので、
1:07:05	府へと分B境界の部分としては増えない。
1:07:10	ことで考えております。以上です。宮部様で少し補足します。下のページ12ページ、すいません、10、23、この辺りを見ていただいてここを見ながら話しさせてください。
1:07:29	はい。
1:07:30	このページなんですけども、本当8日ぐらいにカミデさんの指摘で、次回の基本方針っていうところに乗っかってくるものの一覧というのを示しなさいということ。
1:07:43	そしてお指摘いただいています。そこに対しまして、その時の会話でいろいろ話さしてもらったんですけど、第2回以降、第2回第3回っていうところを含めて、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:07:54	若干増える、増えたり減ったりというものもあるのだろうけども、具体像を示すべきでしょうという指摘もあってつけました。ここで、第2回第3回を見据えてこれつけてます。この中にはもうSAの評価も、
1:08:07	評価というか、S s - Aの1.2S sとかで使うものとかも含めて類型化というものを考えてございます。その折考え方としましては、1.2S sとS sっていうところでは、
1:08:19	強度評価評価手法としては一緒になってきて地震の入れ替えっていうところになってきますので、制になったときも、ここ、ここと同じものを使っていけるってことで含めています。
1:08:30	そうなると、次回での示し方というのがどういう形になってくるかっていうところで、この設備のうちに、SAで使うっていうところ該当するものは、この設備ですよっていうことを書かせていただいて、
1:08:42	それで足りないものってなると、緩和型設備の加振試験というのが足りないのをそこを加えた上で、SAの分と、
1:08:52	類型化っていうところを説明していくということで考えてございます。以上です。
1:08:59	はい。規制庁カミデですそうすると4ページの記載っていうのはどういふふうになりますかね。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:09:17	すいません日本原燃佐賀ですちょっと回答する前に神谷さんの出資。
1:09:21	教えてくださいすいません。今4ページだと、S A 設備っていうのは下 はもう常設も後でやりますっていう話。
1:09:33	が記載上はあいてあって、一方で今説明を聞くと、もうおよその、
1:09:41	見通しっていうのはもうすでに出ていて、12ページとか13ページの中 に、常設の形成設備っていうのも含まれて、整理できると。
1:09:53	いう話だったので、どうもなんかそ、事実関係と記載にそごがあるなど 思ったんですけど、そういうところの記載っていうのをどういうふう にしますかという話です。
1:10:04	日本原燃嵯峨ですいません自分、言い過ぎました。崩壊を招く言い方し まして申し訳ないです。結論から言いますと重大事故の扱いというの は、別紙関係と、
1:10:14	同様に、次回で示すというところに考えてございますとか、先ほど自分 は言い過ぎたって言ってますのが、例えば下の整理中23っていうとこ ろで、
1:10:24	我々の管理の中で、この

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:10:28	S A っていうものと、例えばラベルが変わるだけなんで、S クラスであつたり B クラスだったものが S A っていうものになるだけなんでほぼ S クラスが衛生になると。そうっていくと、ここのラベルが大きく変わるっていうことになってくるので、
1:10:41	これを、例えば、ここにあります 1 の 20 番は S A のラベル入って、当該機器何件ありますよねとかっていう管理を我々も今やってますと。
1:10:51	で、清単で式が出てくるっていうもの、例えば 1 の 46 番で S A にしない機器っていうものの式っていうのは、本当、
1:11:02	現在含めておらず、本当、まずはここで示してるのは、設計基準で使うものを示した上でそこに共通となる S A というのを別管理で今管理をしていますと。
1:11:12	そこで、S A 単独で追加になるものは医師会で追加して示すってことを考えておりますので、ちょっと手順みたいな言い方になっちゃったんですけども、S F I S A で、次回で示すっていう考え方に、
1:11:24	なっております。すいませんちょっとわかりづらい説明ですけども、ちょっとそこは分けてちゃんと説明したいと考えております。以上です。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:11:35	はい。規制庁カミデです。今説明されたような古藤、この場所なのか、あれですけど、きちんと示してもらうことが必要かと思いますというのも、
1:11:51	要は、今の記載だけだと、
1:11:54	2 ポツ 2。
1:11:56	計算式による分類じゃこういう、前段の整理から S A をやり直すのかっていうところをまた聞かなくちゃいけないで、そうではなくて、
1:12:07	第 1 回で説明した場合っていうのがどこまでそのまま考え方として使えるのか、そういうホールドポイントを明確にしてもらいたいと。
1:12:18	大手の確認ですので、
1:12:23	今の 4 ページの S A の記載。
1:12:26	だけでは、その辺がよくわからないんで、きちっと事実関係を示してもらえればと思います。
1:12:34	はい。日本原燃佐川です。
1:12:36	はい。この類型化の目的が効率的な対応ということで 1 年以上取り組んできてましたので、まさにおっしゃる通りで、私が先ほど話した中身っていうのが書かれてないなど。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:12:47	頭の中にあるだけではありませんので、実際の作業の中でも実際そういう対応をして、本当SAになったからって改めてやることをやらないように、
1:12:59	ちょっとSAの最終形を見据えた上で進めてきてますのでそこを書き出した上で、こういうふうにやっていきますというところを充実化させます。以上です。
1:13:11	はい。
1:13:12	規制庁カミデです。よろしくお願いします。
1:13:16	あと5ページの下の方で、2ポツ3のところ、説明分類ってという言葉が出てくるんですけど、
1:13:28	この辺、何回も話をしながら、少しはわかりやすくはなってきたはいると思うんですけど、
1:13:36	この説明分類って今、定義づけをした言葉は、
1:13:41	それ以降のページで出てきていないような感じがして、要はこの説明文類って何のために使うんですかっていう話なんですけどそのあたり説明いただけますか。
1:13:54	はい。日本原燃フナバです。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:13:56	こちらの説明文につきましては、
1:14:00	耐震計算書、
1:14:04	説明する上でですね耐震計算書の中にある計算式、
1:14:08	説明するに、資料にあるんですけども、
1:14:13	基本的な計算式が一緒に、
1:14:17	部分的にパラメータ式とかが違うものをサルファとして説明するのに、 使いたい分類になってまして、基本的な計算式を説明。
1:14:29	代表一つで説明したとして、
1:14:32	そこと同じ計算式のもの、その差分の部分だけを説明したくて、
1:14:38	類型化をして説明しますっていう。
1:14:44	類型化するものになっております。以上です。
1:14:47	すいませんサガワですでその先をカミデさん指摘していると理解しております。それは今の類型化の考え方というところで計算式で100ありました。そこで類似したものを集めていくと。
1:14:58	50になりました。50を比較で説明しますということを今フナバ言ったんですけども、その言葉を定義づけただけで使われてないっていうところに、どうなんだっていうところがあると思います。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:15:09	そこについては定義づけてるんでこれは最終的に代表設備を選定してやっていくってところが多分書き足りてませんので、本当館類型化100が50になった、50に対してどういうふうな説明をするってところの流れのところ、
1:15:23	ちょっと最終的に代表設備を選ぶと、代表設備の選び方がその50の中から選んでいくんだってところを、うん。
1:15:32	100の中から選んで説明をするときは50でやっていくんだってところを、もう少し書く必要があるのでこの説明分類っていうその定義づけがいかがなものかというのはありますけども、
1:15:42	そういう使い方をしたいところをわかるように記載いたします。 以上です。
1:15:50	規制庁上出です。
1:15:52	何かやっぱ、
1:15:54	今の説明だけでも、頭が追いつかないところではあるんですけど、
1:15:59	私のイメージでは、7ページから7、
1:16:04	8ページ、
1:16:07	3ポツの説明の中で、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:16:11	これは計算式分類でしたっけ。
1:16:16	ごとにありますこれは説明分類でやりますみたいなことがちゃんと書かれない、書かれていないんじゃないかと推測をしていたんですがそうではなくて、
1:16:29	説明文類型の本来 9 ページ、
1:16:33	9 ページの 4 ポツのところ、
1:16:38	言葉が出てくるものなんだと、そういう整理をまずされてるっていうことなんですか。
1:16:47	米沢です。少々お待ちください。
1:17:04	日本原燃、稲葉です。す。説明分類につきましては、すみません 2 ポツ、3 のですね、一番最後 6 ページの、
1:17:15	この内野と山根嵯峨です。すみません、回答にならないのでちょっと補足します。結論から言うと、自分が今 4 行って言いましたけどカミデさん参考って話があって、
1:17:25	正しくは 3 項と 4 行の間ってところなので、どちらに書くべきかって少し今自分は考えてました。そうなったときに、計算書のあり方ってところでいきますと参考というところになってきますので、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:17:37	参考というところでさ、先ほど例として自分申しました100っていうものが出てきましたと、100を、それを1個1個見るのかっていうと、いや、式の成り立ちから考えると派生してできてるものは、
1:17:50	一つの式を代表で見ればその派生してるところを見ればいいでしょうと いうところで、その説明分類というものを活用したいと考えていると考 えております。そうすると、この3行が出てきて、
1:18:01	4項に行くつなぎの間に書きたいというのが自分の考えでしたので、参 考の後ろの方に、その活用の仕方とその分類関係っていうのを、
1:18:12	丁寧に書けば、最後の、
1:18:14	代表設備というところになりますので4行に書きたいといったところ は、もうそれは結果が出てからどういうふうを選ぶっていう選び方の話 をしていますので、言われてみますと、
1:18:25	参考の後ろかなということ考えておりました。以上です。
1:18:34	規制庁上出です。
1:18:40	まずは、感慨を示してもらってというところかもしれないですけど、参 考にそのまま関係ないっていうのもあんまり、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:18:51	わからなくて、何か計算式の差分を説明したいんですみたいな話をされてましたけど、
1:19:00	要は、何で
1:19:02	説明をしたいのかっていうところなんですけど、何かの重くて聞い
1:19:07	何かある補足説明資料っていうのを今後作ろうとしていて、
1:19:12	その中で、
1:19:14	そこを効率的に、
1:19:17	説明する、もしくは申請書を効率的に作っていることをそこで補足して説明する、したいから、
1:19:25	こういう説明文になるものができているのかなと想像して話をしています。そういう意味だと、当然参考で、この書類に置いて計算分ということに何かします示しますっていう話に、
1:19:40	なるんじゃないかなと思ってたんですけど、私の認識がやっぱり違いますかね。
1:19:47	日本原燃佐川です。
1:19:49	もう結論から言いますと、神谷さんのご指摘通りだなと思って今聞いてました。すみません自分がぶれてくれてるわけではないんですけども、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:19:57	<p>本当確かに目的としましてはこの参考で何やりたかっていうところで今回書き下しているのが、添付資料と補足っていうところを書いてます。そうなった時に補足っていうところの位置付けは何だっというところから整理していきますと、補足はあくまでも添付を、</p>
1:20:12	<p>確認するもの妥当と判断できるものというところで活用しているのが補足だと理解してございます。そうなったときに、添付を見る上で必要となるもの例えば今回書かせていただいたのが、</p>
1:20:24	<p>評価部位を、ここ見なくていい予定してる理由とか、こういう周期を見なくていいし、理由の補足はつけますと、それはちゃんとここで示した上で、添付の説明しますってことをここ今回書かせていただいておりまして、</p>
1:20:37	<p>さらにその先に補足で、</p>
1:20:39	<p>補足のみで説明するものがありますということ、後段に書かせていただいておりますので、まさにご指摘の通り今回このやつは補足類型化っというところで説明する上で、</p>
1:20:50	<p>補足。</p>
1:20:52	<p>添付を補足するためにやってることから考えていきますと、また以降のところをしっかり書いて、こういうような計算書の確認の。</p>

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:21:02	ツールとして使っていくんですってということで展開するべきだということで、今考えておりました。以上です。
1:21:12	はい、規制庁カミデですとりあえず思いは伝わったような気がします。
1:21:17	その上で、感想でいうと、その目的を、を達成するために、説明文実機運用1回くくっちゃう必要があるのかっていうのは思っているんですけどその辺は
1:21:33	今後整理した説明を見て、納得感があればそれでいいので、いずれにしても少し整理が必要かと思しますのでよろしくをお願いします。
1:21:45	宮部佐賀です。了解いたしました。
1:21:50	規制庁上出です。で、今の話にも関連して、今度7ページの3ポツですけど、ここで何を説明するべきかっていうところも、
1:22:03	考えてもらう必要があるっていうのは理解いただいたんじゃないかと思えますけど。
1:22:09	例えば携帯式による評価を行う設備とって括弧123、
1:22:16	D層なんか3分類あるんですけど、
1:22:20	ここの説明の仕方というか、考え頑張りよくわからなくて、他にも携帯式による評価を行う設備っていうのは、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:22:30	この三つに集約できるものではないとっていて、何かいろいろあると思うんですけど何かこの三つだけまず説明しているっていうところも、
1:22:40	よくわからないんですけど、どういう体系で説明しようとしているのか、説明いただけますか。
1:22:51	はい。日本原燃フナバです。参考のところにつきましては、今、記載してるものが、
1:22:59	ちょっとすいません資料には書いてないんですけども、代表的というか、主な分類を示してまして他の分類についても、全く、
1:23:09	完全一致するわけではないんですけども、同じような示し方をしますっていうところで、今示してるものに含まれますというような思いでちょっと書いていたっていうところがありますので、そこについては、
1:23:20	頭書き足りてないと思いますので、
1:23:25	米澤です。ちょっと違いました。すいません。思っている言い方をしたんですけど、本当もともと類型化をしていくと、73になりますっていうところで、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:23:35	73 ここに全部書き下すっていうのは、ちょっとやり過ぎかなっていうところで考えました。そうなったときに、この類型化っていうところで今回、主にどういうことをやっていくんだっていうところで、
1:23:48	変えていこうということで、ちょっとぐす。
1:23:52	ここは例示として載せてるイメージで記載したと、じゃあどういう例示で今神谷さんからご指摘あった容器類ポンプ類、盤類っていう三つになったのかっていうと、定型式っていうところが数多く出てきます。
1:24:04	そうなったときに、容器類っていうところの評価部位っていうのは大体一緒になりますよねっていうところで、起きる意図でコンプリートというのは、そこに機能維持が入ってきますっていうところで分けて、
1:24:16	そこを中心的に考えたときに、そっからはみ出るのは盤類だぐらいのグルーピングの三つっていうところなので、ここはちゃんとやろうとしてることを例示として示して行きたかったっていうところで全部書きくださなかったっていうのが、
1:24:31	考え方になってございます。
1:24:39	規制庁上出です。
1:24:45	A M A G I は、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:24:46	分ける理由もよくわからなくて、
1:24:52	もともと、
1:24:54	この資料っていうのは、類型化をしますっていう話で、
1:25:01	3ポツにおいては、類型化をどう活用しますか、っていう話なんですね。で、
1:25:09	累計かって何か評価部位が、
1:25:13	どうだ、どうとボルトなんですとか、
1:25:17	何かフィルターバー折るとと。
1:25:20	電氣的機能維持みたいな何か、機能維持Gの説明みたいになってますけど、
1:25:27	何か。
1:25:29	目的からしてぶれているような気がする。
1:25:33	単純に携帯式による評価を行う設備はどうすんのかっていうと、
1:25:38	要は
1:25:40	設工認の添付の耐震計算書で、
1:25:43	こういうふうに分類ごとに示しますっていうこと。
1:25:49	なんじゃないのかな、要は共通的な計算式を入れてそれ以外は、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:25:55	緒元の諸元と結果だけなんですみたいな。
1:25:59	指令を示すことで、
1:26:02	効率化を図るというか、
1:26:06	ある程度まとめて、
1:26:08	示せるようにしますっていうことなんじゃないかと思ってたんですけど。
1:26:13	何か今の記載を見てると、
1:26:16	何か目的というかその辺がずれてきてるんじゃないかなと思うんですけどそのあたりいかがですか。
1:26:24	三宅根井サガワです。
1:26:26	奥駅としたづらいです資料構成としては、ただ、確かに神谷さん言う通り、よろしくないのかなっていうところがあります。何がよろしくないのかなっていうふうに感じてるかっていうと、もともとここの参考の発信っていうのは、
1:26:40	カミデさんとやりとりいろいろさせてもらって、ヒアリングの中でですね、やらせていただいて、ベントの後ってところの一覧表をつけましょうっていうところが発信点となってきたって理解しております。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:26:52	発信点となって添付の5で何やるっていう一覧表でまず話をしていたんですけど、これを本市にも少し書き下した上で展開しなければいけないということで、
1:27:03	展開してっった時に、ちょっといろいろ、
1:27:07	社内的にもコメントがあったりなんだりしたっていうのもちょっと一部あるんですけど、その中で、
1:27:14	添付の中でやることもやっぱり冒頭言いましたけど、本旨に書かなければいけないなっていうところで、ここに何を書くってなると、類型化の考え方を変えてしまうと、2行で書いてる話になってきちゃいますので、
1:27:29	実際に活用する時っていうところで評価部位っていうところを、
1:27:34	気に入ったっていうところで今上出さんのご指摘の、何か連れてきてるんじゃないのっていうところに、
1:27:40	繋がってるって今理解してます。ただ考え方はずれてないんですけどここに書く内容がそろわなかったなっていうことかなっていうことで理解してます。
1:27:51	以上ですすいません。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:27:54	はい、規制庁カミデすまの目的キーずれてるっていうのは本当の元の目的キーワずれずまさに考えとしては出てないと思いますけど、
1:28:07	記載の方向性としては違う方向にいったるんじゃないかなと思ってます。
1:28:13	要は、この3普通の説明をするにあたって、
1:28:18	2ポツで、
1:28:22	その前の6ページですよねその計算式分類なり、
1:28:28	説明分類なりっていうのが、それぞれどういうもので幾つあるんだっていうのが、6ページの結論ですから、
1:28:36	7ページにおいては、
1:28:39	どういうものを計算式分類ごとに説明するんだとか。
1:28:44	こういうものは説明分類ごとに説明するか。
1:28:50	あとはそうではない分類も当然あって、
1:28:55	(2)のポンプで言うところの内とかって書いてますけど、こういうものについてはまた別の、より効率的な分類でやるんだっていうことなんだと思いますけど。
1:29:07	ちゃんと

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:29:09	2、2 ポツの、
1:29:10	整理をちゃんと展開して、その言葉を使ってどうするんだっていうことを示してもらいたいと思ってますけど、そのあたりは理解いただけますか。
1:29:23	井上サガワです。理解してます。うちの資料を作る時にもその言葉のつなぎ言葉を沖に行くっていう繋がりっていうのをかなり意識して作ってるんですけど、今指摘を受けた通り申し訳ないです。
1:29:36	今、資料作るんであればまさにその基本に立ち戻った場合に、この2項というところでまとめ書いたんで、計算式分類、説明分類っていうところが出てきましたです。冒頭先ほどここに至る前の議論のときにも説明分類をどこで書くんだって指摘もまさにそこだなっていうことで、今、
1:29:53	感じてまして。その時に説明分類というところの定義づけをここの参考の頭で展開して行って、その中でどう説明するというを書き下した上で次に説明分類っていうところ。
1:30:07	言葉遣いと、この数というのも、最後まで持っていく形で修正したいと考えております。以上です。
1:30:17	はい。規制庁カミデです。よろしく申し上げます説明ぶりなんだと思うんですけどねなかなかそれが、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:30:26	綺麗にならないまま、
1:30:28	進んできてるんで、次ぐらいには、
1:30:31	何とかとよろしくお願いしますというところです。
1:30:35	その他は大した話ではないです。江藤。29 ページの、
1:30:43	参考資料があってこれ確かにこれいろいろやりとりがあって、分類数がいきなり変わってきたりしたんで何で使うっていうので参考資料作って、
1:30:54	もらいましたけどこれどうしましょうかねっていう話なんですけど、ずっと残すのか。
1:31:01	もはや、
1:31:04	もう不要なのか。
1:31:06	な残すのであれば、もうちょっと何でこの市場がついてるのかっていうことを明確にした上で、この辺にか載せておくっていうのもありかと思えますけど、その辺いかがですかね。
1:31:21	日本原燃佐川です。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:31:23	この考え方としましては、最初から真壁さんの今のご指摘通りと考えております。補足説明資料として計算書を確認するということは、結果に対して最後確認するのが補足説明資料だと理解しておりましたので、
1:31:36	ここに至るまでのこの参考資料っていうところで、すと、これは計算書最後になってみる必要ないってことなので最初から参考ってつけ方をし、しました添付とか別紙ではなくて、
1:31:48	なのでここについては、
1:31:51	じゃあ削除しますっていうところにするかどうかなんですけど、ここに、これは結論から言うと、
1:31:56	少しの間仮で残させてくださいと。なぜかといいますと、第2回以降でその制度が入ってくると、これの関係っていうところも、改めてまた示す必要があるのかなっていうところと、
1:32:08	今回つけてる基本方針の先行でつけてるところっていうところの、
1:32:13	形についても、最終的にまた増えるかもしれないというところがあるのでこの関係は、もう少しの間つけたいっていうふうに考えております。最終的には取るべきだって考えております。以上です。
1:32:27	はい。わかりました。規制庁カミデですわかりました。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:32:32	大体第1回というか、切りのいいところで、適正かっていうことだと思います。
1:32:47	そうですね。とりあえず私の方から、
1:32:51	0ん7については以上です。
1:32:58	規制庁の竹田です。その他、記念0について確認がありましたらお願いいたします。
1:33:14	院長の岸野です。私の方からは、また説明簿価することではあるんですけども、
1:33:23	もう全体的2、用語が、
1:33:26	こいつ取れてなかったり、
1:33:27	定義されてない言葉がいきなり出てきたりとか、そういうところが見受けられてですね、説明の趣旨っていうのはなかなかわかりづらいところも幾つかありますので、そういった点を何点か、
1:33:39	お伝えしようかなど。
1:33:43	まず3ページなんですけれども、2パラ目にですね、
1:33:49	計算手法及び計算式等っていうことが出てくるんですけど、これ以降だと、評価手法及び計算し評価手法及び計算式等々ですね。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:34:01	後ろの方だと評価手法ごとの類型化及び計算式の共通部分に対する類型化とか、いろんな言葉が出てきてですね、同じ意味で使ってるのか使い分けてるのかっていうのちょっと読み取れない。
1:34:14	ところがあります。一番最後はもう類型化に踏み込んだ話になってるんで多分違う意味なのかなと思いますけれども、同じ意味で使ってるところっていうのができる言葉を、統一して使っていただいて、
1:34:27	の方が混乱を招かないと思うんですが、いかがでしょう。
1:34:31	井上サガワです。今の岸野さんのご指摘に対しまして、ちょっと声出して申し訳ないけど、我々そこ制度があるってことに、社会の知的もあって気づきました。
1:34:43	すでに今着手して、その場をすべて統一するように修正するってことを今着手してるってのが1点と、2点目として、今の概要でも少しやっばり、
1:34:53	書き足りてないのかなもう少しちゃんとしっかり中身を書いた上で、そのパーツを各各章立てのところに持っていけるように修正するべきでしょうというところで、今、
1:35:05	修正してますので今の岸野さんの指摘は理解してます修正いたします。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:35:12	清町の岸野です。はい。お願いいたします。そういうことで
1:35:17	確認修正を進めているということであればひょっとしたらその中に含まれるかもしれないですけども、
1:35:22	5 ページにもですね、
1:35:25	これは一番上のまりポツメインかな、F E M。
1:35:33	A 評価という言葉が出てきてますけれども、この意味がちょっとわからないなと思っていたところ、7 ページの (4) の吹き出しに括弧 F M 評価。
1:35:44	というような形で、ここで定義づけされてるような感じがありますし、こちら辺の説明が 6 ページの中程の表にですね。
1:35:54	多分集約されてるんでしょうけれども、F D M ところ
1:35:58	個別っていう欄があってどうもここに対応してるような感じもしてやってもらったりですね、ちょっとわかりづらいところがありますので、こういったところにもちょっと注意をして、
1:36:09	修正をしていただければ
1:36:13	申請時、
1:36:15	はい、日本原燃フナバです。はい、承知いたしました。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:36:18	はい。規制庁の鬼頭です。あと、12 ページ以降にですね非常に発注がかかってるところあるんですけどこのハッチングはすいません、こういった要因してるん。
1:36:28	で、全く教えていただけますか。
1:36:34	日本エヌフナバです。すいません。この表のですね一番下のところに、Bクラスの設備については、類型化対象外というところで凡例をすいません小さいんですけども書かせていただいて、
1:36:48	おりましたので、ハッチングのところはBクラスの基本方針ということになります。以上です。
1:36:54	もう少し補足しますと、基本方針上ってというのは、BクラスをBクラスを示しますと、Bクラスの扱いについては事業者管理というところでやっていますので、今回の類型化っていうところは、そこを含めずに、
1:37:10	含めておりませんと。そうなった時に今載せている12 ページ13 ページというのは次回以降の全体像をイメージとして今載せてる段階ですのでここでBクラスをハッチングして出してたってところが正しい方です。
1:37:23	ただ、記載小さすぎるので、もう少し見やすくします。以上です。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:37:28	次お願いします。はい、わかりました。ちょっと私も、すいません、見落としていたところありますので、もうちょっと減速していただければいいかなと。
1:37:37	小L O C A下がって25ページですね、その中なんですけれども、計算書構成パターン。
1:37:47	が出てきますけど、これどう意味するんですかね。
1:37:51	この補足説明資料で説明があったかもしれないんですが、ここでもうちょっと説明があった方がいいように思いますが、
1:38:00	日本原燃フナバです。すいませんこちらにつきましては、この後、説明をする、させていただく、耐震基準19の方の
1:38:11	構成パターンと、紐づけておりましたが、押しご指摘の通りここに何も記載がないので、ひもづけるのであれば、
1:38:23	ここの説明について追加させていただきたいと思います。以上です。
1:38:28	市長1人です。わかりました。これ、次の、そっか。49の掲載部分を一部抜粋して読み込んでる。
1:38:38	感じでしたっけ。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:38:40	日本遺産ですちょっと正しく言います。ここで類型化っていうところで見せたかったのが、第1回申請の冷却っていう分類がどういう分類に入りますかっていうところでこの黒丸と丸を見せたかったっていうところを目的にこの資料作りしましたと。
1:38:56	そうなったときに、次の資料で説明するって今フナバ申しましたけども、本来そこで書く必要ないんですけど目的に対してパターンAとかBとかっていうところ書く必要ないんですけども、
1:39:07	ちょっとうちの管理上でその%AとかBとかっていうところまで管理してたので、そこを出しちゃったっていうところなんです。ジャパたAとかBって何なのって言った時に、計算書を作る上での構成ということでこの後説明するところに紐づいてくるっていうところなので、
1:39:23	ここはちょっと計算書を確認するっていう目的は、類型化も次の計算書の作成方針のやつも変わりませんので、そこは気をつけ、紐づけた上で示すっていうことになっていきます。
1:39:35	ちょっと目的にちょっと書き過ぎたっていうところはただし、
1:39:38	正しい言い方です。すいません。以上です。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:39:41	大丈夫です。はい、わかりました。ちょっと私もそこまで考えが、及ばずとんだと思っちゃったんですけど、そこら辺は目的に照らしていきたいということ。
1:39:51	あと気をつけてるので紐付けという形がわかるようにしていただければいいのかなと。
1:39:56	と思いますのでまたそちらの方の対象の方に行きます。私からこの事業については以上です。
1:40:15	規制庁の竹田です。その他規制庁側から確認ございますでしょうか。
1:40:28	店長の竹田です。私からちょっと1点だけ入れてもらいたいですけど、
1:40:33	16ページの類型化の活用方法のところ、
1:40:42	どう、
1:40:44	書類の計算書の、
1:40:48	説明事項で言うと、清一番左の設計基準構造共同評価の、
1:40:56	一番下の計算書の書類構成のところ、
1:41:01	ばらつき、留意事項のところ、ばらつきの対応については云々という記載が書かれているんですけど、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:41:12	この表の右側ですね補足説明資料のとっくりのところで、ばらつきについては記載はないんですけど、これはここで、
1:41:20	ばらつきについては活用はされ、ばらつきの補足説明資料については、類型化を活用されてないということなのでしょうか。
1:41:38	日本原燃の鎌田です。すいません、この記載項目として右側の補足説明資料の欄の中に、
1:41:46	はい。井上さんです。ちょっと今の答え回答にあった質問に対して、二つ回答させてください。類型化は活用しますというところです。ここのばらつきの留意事項というところも、先ほどの岸野さんの指摘と一緒に、ここに書くべきことかという、書くべきこととは関係ないのかなというところでそれはばらつきの補足説明資料の
1:42:06	中で説明する内容なので、ここには書く必要がなく、ここは補足説明資料で類型化をどう活用するんだってことで書かせていただいている資料が目的になってますので、
1:42:16	類型化は活用した上で説明していくということになります。以上です。
1:42:23	タケダです。わかりました。すいません、ちょっと質問がかぶってしまったみたいで。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:42:27	活用されるということは理解しました。
1:42:31	私から確認以上です。
1:42:34	その他、規制庁側は、
1:42:36	確認ございますか。
1:42:40	よろしいでしょうか。
1:42:41	それではこの資料についての、確認事項の振り返りをお願いいたします。あと不開示情報、発言がなかったか、お願いいたします。
1:42:51	はい、日本原燃佐川です。この資料の修正方針としましては、先ほどカミデさんと何度も議論させていただいた、この参考というところがすべてかなってことで考えてます。
1:43:04	参考というところが、結局は類型化をやって行っていくと説明するんだってところで今回のポイントになるところなのでそこ、そこが今回、今回というか、これまでも書ききれてないと、やるべきことは、
1:43:17	こうやるんだってところがあるんですけど、そこをちょっとうまく表現できてないので、神谷さんからもありましたけど、次回ぐらいにはこの参考パッチとはまるように修正するように、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:43:27	修正していくと。そうなったときに、この資料なんだっていうところで考えていくと、他の資料というのが技術的観点があった上で作っているって例えば日本語であったり、作っているんですけど、この資料というのは結局類型化をやるっていう目的のところなので言葉とか、名称ってというのが、
1:43:46	かなり重要だということで、今理解しております。それが中心となる資料なので、その言葉名称というところキシノさんからもご指摘ありました通り、そこの繋ぎっていうところを正しく全部つなげていかないと、
1:43:59	この参考というのもでき上がらないだろうということで考えておりますので、そこのつなぎ含めて全般的に修正する必要があるってことで理解してます。
1:44:08	以上です。
1:44:09	非開示情報についてはございません。
1:44:14	江島タケダです。ありがとうございます。
1:44:17	今の振り替えにつきまして、規制庁側から何か追加で確認等ございますでしょうか。
1:44:25	よろしいでしょうか。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:44:28	それでは最後、耐震記念 19 案の確認をさ。
1:44:32	に進みたいと思いますので、この資料につきまして、下の方から説明ありましたらお願いいたします。
1:44:42	はい、日本原燃フナバです。
1:44:44	こちらの新規全 19 の資料につきましては、
1:44:49	先ほども説明した結果と同様にですね、2 月 7 日のヒアリングにおいて、資料のできに関する指摘事項がありましたのでその
1:45:00	修正として、概要のところ、この資料の目的をはっきり記載しましたっていうところと、あとは、その概要、目的から、具体的な内容の、
1:45:12	松波の部分ですねそこを追加したっていうのが 1 円で、その前の変更でですね、2 月 7 日の時点ですべて出していた資料の変更点としましては、
1:45:23	昨年の 10 月のヒアリングでですね、ご指摘があった、共通部分と個別の部分耐震計算書に示すところで、
1:45:36	別の部に、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:45:37	もう少しくれる共通部分のようなものがあるんじゃないかという指摘、 例えば、適用規格の部分ですとか、その分を踏まえまして、共通部分と 個別の部分を、
1:45:49	最後、再整理して、修正しているっていうのが変更点になります。以上 ですよろしくをお願いします。
1:45:58	規制庁の竹野。
1:46:00	とそれであとなしにつきまして規制庁側から確認ありましたらお願いい たします。
1:46:09	規制庁岡見です。
1:46:14	まず3ページですけど、
1:46:17	真ん中の、
1:46:20	2パラ目ですかね、後半部分ってこういう周期の算出方法の分類ごと に、
1:46:28	計算書パターン化してありますけど、ここで言ってるのは、
1:46:33	さっき07で説明されたものとは別物の説明をしてるってことですか。
1:46:43	はい。日本原燃、フナバです。
1:46:46	そ、その通りでございます。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:46:49	衛藤。
1:46:51	計算書を作成する上での構成パターンとして、こういう周期の算出方法 によって例えば解析でこういう周期を出しているのですとか、
1:47:01	試験で、いや、計算、試験でこういう手技を出してるものですかによ って、計算書の構成が変わるっていうところで、そのパターンを示して いるっていうところになりますので、
1:47:13	先ほどの類型化の方ですと、
1:47:17	設備の形状とかで計算式が違うというような、
1:47:22	ところになりますので、別の
1:47:26	話になります。
1:47:27	以上です。
1:47:32	あと、規制庁カミデです。
1:47:36	こういうものも、類型化の説明の一つであって、07でも説明をされ、
1:47:49	いう対象であろうと私は思ってます。要は、先ほどの、
1:47:54	7番でも剛なものとか、
1:47:58	本みたいなところは参考で触れられてたと思うんですけど、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:48:02	07 番で説明するのはその 40 何分で言うのはその計算式分類内製明文で っていう。
1:48:10	ことを、
1:48:12	がスタートになってるわけじゃなくて、前、設工認図書全体で、
1:48:20	どういうふうに類型化を活用して、効率的にするのかっていうところで すから、
1:48:28	こういう、
1:48:30	嶋今回この救急の話も、07 で、触れておくべきと思ってますけどそのあ たりの認識はいかがですか。
1:48:41	日本原燃佐川です。
1:48:43	先ほどの木野さんと自分のやりとりっていうところの発端になった資料 のパターン A っていうのがまさにここになると、そこに対する自分 の回答としましても、
1:48:54	類型化もこの資料も、目的は、計算書を確認するということが目的です ということをもまさに自分話してましたので、そういう意味では今野カミ デさんのご指摘に、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:49:07	踏まえますと、この資料とあの資料というのは、含めて作るべきだなあ ということで今考えておりました。そうなった時になぜ分かれてるんだ といったところでいくと、類型化を作り始めた時期と、
1:49:20	先行炉っていうところを見た上で、こういうのを準備するっていった時 期がずれてきただけなので、目的っていうところだけで考えますと例え ば今類型化で今出してる資料側のところが、類型化はこういう構成にし てこういう説明でこう活用するっていう活用変であれば、
1:49:36	次に、ここのやつってというのが、中身を確認していくっていうところ になってくるので、最終的には、中身の見方っていうところとここぶら下 がってくるのかなっていうことで考えておりました。以上です。
1:49:52	規制庁上出です。
1:49:56	私もこの資料を最初、今回のこの資料出されて、7番見て19番見て、
1:50:03	読んだ感想としては、これ一緒にしちゃえばいいのになと思っていまし たが、
1:50:09	先ほどの7番で、
1:50:12	いろいろお話をしたところだと。
1:50:15	多分、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:50:17	今 19 番を生んだ、ドッキングさせるタイミングではなくて、7 で一旦まずはパッケージをちゃんと作るっていう方が、何か優先されそうになって、
1:50:29	いずれ目的会社だから、なり、繋がりがあるから、ドッキングするかもしれないですけど、
1:50:37	朝 7 番は 7 番で固めてもらうっていうことが大事かと思います。
1:50:48	日本原燃嵯峨です。
1:50:50	了解いたしました。等と、今回の資料というところは最終的なところは一緒ですけど今神さんのご指摘でまずはあっちをしっかりと固めなさいというところも理解しましたので、ただこの関連づけというところはしっかりと紐付けた上で、あと、
1:51:05	作成していくっていうことで、しかるべきタイミングが来たときにいつでも脱退できるような感じで構成作るべきだということで理解しております。以上です。まずは別個、別々でしっかり作ります。
1:51:21	はい。規制庁カミデです。
1:51:25	あとは、19 はそんなに、
1:51:29	もうあまり手当をすところもないのかなと思ってますけど。

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:51:34	ちょっと気になったとしては、8ページの、
1:51:42	仮登録と(7)なんですけど、
1:51:48	6と7が、
1:51:50	定ピッチの話になってるんですね。で、
1:51:55	そうなると、
1:51:57	(1)から、
1:52:00	(5)までが、定ピッチの話を、も、
1:52:05	込みで行っているのか。
1:52:08	6名だけ低ピッチの話なのかっていうのが、
1:52:13	<p> 相関関係がよくわからない記載になってしまったんですけど、この辺 は、 </p>
1:52:18	<p> 実情としてどんな感じなのか説明いただけますか。 </p>
1:52:24	はい。日本原燃花輪です。
1:52:26	こちらの記載につきましてはまず定ピッチG、
1:52:31	の、
1:52:32	<p> 経産省の構成としまして、江藤すいません7ページの①の概要というも のがまず頭に行きます。それから、 </p>

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:52:44	すみません、下のページ 6 ページ見た上で今フナバ話しさせていただきます。 い。
1:52:51	すみません。日本原燃加川です。下のページ 6 ページの表、構成パターンの図のところですね。
1:52:58	の下の D。
1:53:00	D というところを確認いただけますでしょうか。そちらに、そちらに衛藤。
1:53:07	ピッチの構成について、甲斐記載させていただいてるんですけどもまず一番に概要がきまして、2 番に適用企画それから 3 段に、辻野丸計算精度と数値の丸め方、あと、
1:53:22	⑦番として、ピッチの評価の中身がきます。
1:53:28	はい。日本原燃佐川です。これちょっと端的に言いますと、亀田さんの言う通りセンスはないかなってところで、共通部分と、ここに書く部分というところがあるので、共通部分になるところは共通で示しているというのがこの資料になってます。
1:53:43	なので 12 というところは、この A B C D というパターンによらずかくかく内容は一緒だからってところで共通で書きちゃって、例えばで

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

	は次に、345 っていうところが A で終わるかっていうと、B でも 34 までは共通ですというところでこういう、
1:53:58	急に将来的に絡んでしまうので、ちょっと角田目とセンスとわかりづらさというところでは共通部分個別の部分とかって分けたほうがいいのかなということで今考えておりました。以上です。
1:54:12	規制序神です。わかりました。6 ページの表、
1:54:17	ートの対応で言えば確かに書き分けられてるし、それをわかって読めば、別に C A B R I も C A B R I とかさっき言ったように、
1:54:29	これはどこまでの話なんだっていうのは、一応誤解なく見れると思いますけど。
1:54:36	7 ページの冒頭でそういう整理を書くかどうかはお任せします程度で、どちらでも、とりあえず読めるで構いません。
1:54:50	そうですね。
1:54:51	綺麗に注記については、取れとりあえずそれぐらいかなっていう感じで、実際のそのなるべく共通するものを、
1:55:02	まとめましょうっていう、後ろの方の具体の説明は大分何度も話をしてきて整理されてきたのかなと思ってます

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:55:11	その時、
1:55:13	私の方からでしょ。
1:55:18	規制庁の竹田です。
1:55:20	その他、
1:55:21	記念 19 についての確認はございますでしょうか。
1:55:35	規制庁の掛川です。
1:55:38	この資料。
1:55:40	では、経産省作成の手引きとして活用するってということではあるんですけど、
1:55:47	環境影響の評価や水平 2 方向や鉛直地震動とか、一関やその他の関連する、影響評価に関する計算書もあると思うんですけどそれらも含めて、
1:56:02	資料が手引きになると、一式適用範囲となるということに考えていてよろしいんでしょうか。
1:56:16	日本原燃澤です。
1:56:17	竹田さんのご指摘の通りです。すいません今ちょっと時間

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:56:21	かかったのがこの資料にも書いたはずだと思って今見てたんですけど、耐震計算書っていうところの前提条件の中には波及影響も含むということは類型化に、
1:56:33	側にも書いてました。この資料にも書いてるはずだと思ったんですけどもそこがなかったので今のような指摘に繋がっていると理解しております。実際それは全部含めてやるってところなのでそこについては、 実際、
1:56:46	拡充します。
1:56:48	以上です。
1:56:49	規制庁の竹田です。わかりました。それでは、
1:56:52	それではそういった適用範囲についての記載も拡充していただければと思いますので、お願いいたします。
1:56:59	私からは以上です。
1:57:03	その他よろしいでしょうか。
1:57:06	よろしければ、日本原燃の方からこの資料についての修正方針について説明をお願いいたします。あと不開示情報の発言の確認をお願いします。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:57:16	はい。日本原燃佐川です。資料の修正としましては、
1:57:21	耐震計算書の作成という、
1:57:24	19番ですね。ていうのと、先ほど類型化というところの資料の7番ですね、っていうところの関係性というところで行きますと類型化の目的にはこれも含まれるというところで、
1:57:35	そこはご指摘の通りと考えます。なので、類型化側にこの資料の位置付けていうところをしっかりと記載して、紐付けた上で修正すると、今これを合体させるというところは少しちょっと止めといて、しかるべきときにできるような構成で、
1:57:50	類型化側を修正していくってのが一番の修正かっていうことで理解します。二つ目、三つ目としてカミデさんと竹田さんからご指摘ありました、少し書き足りてないというところにつきましては、この資料第2回以降にもこれブラッシュアップとか、
1:58:04	していきますので、Bでその時までには修正しておくというところで修正いたします。以上です。
1:58:15	規制庁の竹田です。ありがとうございます。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:58:18	今の説明につきまして、規制庁側から追加で確認等ございますでしょうか。
1:58:25	よろしいでしょうか。
1:58:28	それでは本日予定していました、確認する資料としては以上となります。
1:58:34	全体を通じて規制庁側から何かございますでしょうか。
1:58:42	元の方から何かございますか。すみません。どうぞ。
1:58:45	すみません。規制庁鏡です。
1:58:48	19番で1点。
1:58:50	聞き漏れがあったんですけど、
1:58:54	何か前のヒアリングのときに、今回、説明項目大分整理しましたけど、 帰任カーでは何かもうちょっといろいろ説明があって何かその辺の差分 について説明しますみたいな話が、
1:59:12	あったんじゃないかと思ってますけど、どうでしたっけ。
1:59:21	ぜひ少々お待ちくださいそれを、すみません少し確認ですけども、自分 の記憶で自分がそこ回答するって言ったやりとりは少し記憶なくてももし 今あるのであればユーティリティ側の、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:59:36	冷却塔の中身だったかなって思ってますけどカミデさん冷却塔をイメージしています。それともこの資料自体ですか。
1:59:45	カミデです確かそうですね、冷却塔の話の時でしたっけ。これ、
1:59:53	そうですね冷却塔の話をしてた時だから、直接、
1:59:59	この話ではなかったような気がします、
2:00:04	でも実際どうなんでしたっけ今改めて。
2:00:08	整理をしてみて、
2:00:12	むき認可と差分が結構できるんでしたっけ。
2:00:23	米沢です。
2:00:24	一つ原田課長答えるなら答えて欲しいんですけども、ちょっと今、ユーティリティ施設課の人間いなくて、自分が聞き及んでる範囲でいうと差分は出てないってところは聞いてます。それらの、
2:00:38	説明は他の資料、変更点の説明資料とかで今後説明していくことになるってことで理解しております。
2:00:48	日本原燃原田。
2:00:50	ちょっと今のやりとりの点ですね、私もですね澤側が述べた通りの認識ではあるんですけども、今一度確認した上でですね、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:01:02	しかるべき説明をしていきたいと思います。以上です。
2:01:11	はい。規制庁上手です。ちょっと私もしっかり
2:01:15	思い出せないまま、ちょっとあれなんかあったと、ちょっと話をしてしまいましたが変更点のところを聞いた方が確かにわかりやすいと思います。そちらで、
2:01:27	説明した、していただければと思います。以上です。
2:01:34	はい。日本原燃原田です。はい、承知いたしました。これですね、新規で13番ですね確か変更点の説明のところ、
2:01:42	そこでちょっと改めて紹介なりしたいと思います。以上です。
2:01:52	規制庁、池戸です。
2:01:55	それでは、その他、原燃から何か全体通してございますでしょうか。
2:02:04	八木沢ですちょっと1点だけ最後まとめの中で行ったんですけど、この19番っていうところは、先ほど第2回に向けてこの微修正はしますって話したんですけど、終始したものはお出しした方がよろしいでしょうかという確認だけさせてください。
2:02:24	と、規制庁カミデです

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:02:27	おそらくですが、今までも幾つか大体話を聞いて終わって、もうヒアリングしなくていいなと思ってる。補足説明資料もありますけど、
2:02:39	どこかの第第1回位を、
2:02:43	の終盤に向けてですね、やっぱり1頭李みて、精査をしていただくって いうのは必要だと思ってますし、当然事業者としては、
2:02:53	やられるんだと思ってましたがいかがでしょう。
2:02:58	はい、米沢です。笹川です。
2:03:01	まさにおっしゃる通りですこっちの資料を直して、関連するものについては横展開ということで、いつも修正しない、してますので、おっしゃる通りで、他のところで審査を進めにつれて、ここ直さなきゃいけない反映させなきゃいけないというところは直していきます。
2:03:17	なので直した上で、ちょっと聞きたら、また、
2:03:21	確認させていただくってことですかね。
2:03:25	ちょっと今は修正します。そのすぐすぐさま出すかっていうところだけ確認したかったところですね。規制庁カミデなのでいずれとかで精査のタイミングがあって、そういうものは基本的にとかの、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:03:39	まとめ資料といった整理しようかみたいな時も、ある程度、一式で整えたものをもらうタイミングみたいのがあったんで、
2:03:50	おそらくそうなるんじゃないかと私は思ってますので、そういうタイミングで、微修正者を、
2:03:57	出してもらうタイミングで出せるんじゃないかという気はしてます。
2:04:03	長根サガワです。了解いたしました。修正して、いつでも出せるように備えておきます。
2:04:14	補足です。今の、
2:04:17	整理をしてまとめていくっていう方向でいうと、00 聾シリーズの資料をまとめるとですね、
2:04:25	従来出していた補足説明資料の番号を振り直しをしたりとか、
2:04:31	というようなことがあったり拡充したりっていうことが、
2:04:35	他の条文でもあったりして、それをいつやるかみたいなどの話をし始めたところで 00 がうまく進まなくなったところなので、
2:04:46	最終的にはそういうところで整理をした。
2:04:50	タイミングということがあろうかと思えますけど、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:04:54	それもどう進むかわかりませんので、全体の事務局と相談して対応いただければと。
2:05:02	はい。日本原燃佐川です。了解いたしました。いずれにしろ、いつでも出せるようにどういう対応でもできるように、ちょっと耐震側として第1審として準備しておきます。事務局と相談いたします。
2:05:14	以上です。
2:05:19	規制庁の竹田です。その他全体としてございますでしょうか。
2:05:26	よろしいでしょうか。
2:05:28	それでは本日のヒアリングは以上とさせていただきます。お疲れ様でした。
2:05:34	はい、ありがとうございました。どうもありがとうございました。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。